

これまでの議論の整理



これまでの委員会における主なご意見



分類	主なご意見
ターゲット及び地域課題の解決に関する事項	<ul style="list-style-type: none"> ○行政による支援の在り方を考える上で、シェアサイクルの導入によりどのような課題を解決するかを踏まえることが重要。都市部と観光地では解決すべき課題が異なる。(第1回・中間打合せ) ○シェアサイクルは公共交通機関の補完等として、住民の日常利用や観光客の利用における利便性・回遊性の向上、環境負荷の軽減等を目的に導入されている。(第1回・第2回)
地域の政策としての位置づけに関する事項	<ul style="list-style-type: none"> ○公共的な交通として扱う以上、地域の公共交通の計画とともに考えていくことが必要。(第1回) ○自転車活用推進計画にシェアサイクルを位置付けることが、行政内の連携を図るうえでも重要。(第3回) ○地方公共団体による支援の判断基準としても、達成すべき目標を設定することが重要。(第4回)
事業スキームの検討・採算性の向上に関する事項	<ul style="list-style-type: none"> ○持続可能性を高めるため、シェアサイクルに対する財政上の対策も考慮が必要。(第3回) ○採算性は事業スキームや都市規模によって異なるため、行政としてどのような支援がふさわしいか整理すべき。(第4回)
地域との連携方法に関する事項	<ul style="list-style-type: none"> ○都道府県と市区町村間の連携や、庁内の部署間連携を促す事のできるガイドラインにできればよい。(中間打合せ)
サイクルポート設置場所の確保に関する事項	<ul style="list-style-type: none"> ○採算性が悪い都市の共通点として駅の近くにポートが無いことが挙げられ、地方公共団体等と連携して駅前にポートを設置することが重要。(第1回) ○公共用地でのサイクルポートの設置に関して、事例紹介だけでなく、制度の解説を示してほしい。(中間打合せ) ○各地域の優良事例等について、各地方公共団体に対する情報提供や周知をしていただきたい。(第3回) ○地域によって警察からポートの設置許可が下りないケースがある。シェアサイクル活用の方向性について、各地域の警察への情報共有をお願いしたい。(第3回)
利便性の向上に関する事項	<ul style="list-style-type: none"> ○公共交通との連携、他地域との相互利用、経路検索やMaaSの取組の必要性への意見が多い。(第2回) ○自動車からの転換を目指すのであれば、自動車を使っている人に届くような情報の出し方や、非利用者がシェアサイクルを認識できるアピールが必要。(第2回) ○公共的な交通として扱うのであれば、シェアサイクルのデータを地域の計画のために活用すべき。(第1回) ○前橋市の自転車走行データの活用事例のように、行政による交通計画への活用など公共性に結びつくような事例が更に出てくるのが期待される。(第4回)
安全・安心の確保に関する事項	<ul style="list-style-type: none"> ○安全性については、自転車の通行空間とポートを一体的に整備することが重要。(第1回) ○自治体向けのガイドラインであれば、通行空間の安全性向上についてもガイドラインに明記すべき。(中間打合せ)